

FUKUSHI meets!

2019年新卒向け
福祉就職フェア5,6月開催

開催結果まとめ(両会場共通)



あなたとワタシのフクシのアシタ

FACE to FUKUSHI

1. FUKUSHI meets!とは

- ◎ 福祉系大学生と福祉法人の新たな出会いの窓口に
 - 2014年度にFUKUSHIビッグバン！と銘打って、大阪で福祉法人の紹介パネル展＋合同説明会を開催したことから活動が始まった。
 - 2015年度からは東京で開催。合同説明会形式で、全国から出展法人を集めて開催。
 - 仕事のリアルを知るために、学生と福祉法人の「対話」を大切にしている。スーツ禁止、カフェのような設えで、会場全体で対話しやすい空気づくりをしている。
 - 2016年度、春からは大阪でも開催。
- ◎ 2017年3月で5回目を迎える。毎年夏と春に開催
 - 2014年度：2014年6月20日～7月26日
 - 2015年度：2015年8月2日（日）、2016年3月21日（月）
 - 2016年度：2016年7月3日（日）
 - 2017年3月20日（月・祝）@大阪、2017年3月27日（月）@東京



2. 概要

日程	東京会場:2018年5月20日(日) 大阪会場:2018年6月3日(日)
会場	東京会場:秋葉原UDXカンファレンスルーム 大阪会場:大阪工業大学梅田キャンパスセミナー室
参加対象者	福祉の就職を考えている大学生・専門学校生
出展法人数	東京会場:17法人 大阪会場:19法人
出展法人の特徴	全国各地からF2Fが厳選した、オモシロイ福祉法人
当日のプログラム	・オープニングトーク ・アイスブレイク ・ブース型説明会 ・サイドコンテンツ ↳人事担当トークショー、若手職員トークショー
フェアの特徴	1. 全国最先端の福祉法人と出会う 2. 対話を大切にした会場作りで若手職員と福祉の話ができる 3. 他にはない、サイドコンテンツ

3. 広報媒体

➤ チラシ・ポスター



➤ WEBサイト



4. 出展法人一概要

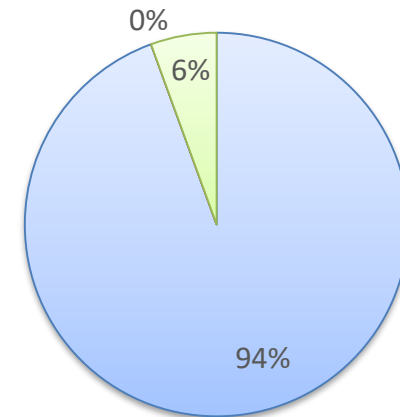
出展法人数(のべ数)	東京会場:17法人 大阪会場:19法人
ブース訪問学生数(平均)	31.55名(両会場平均) 東京会場:38.88名 大阪会場:24.21名
満足度	86.21点 (/100点・両会場平均)

● フェアの感想

- 福祉学部の学生にここまで会えるイベントはほかにない。出展できることを活かし、採用へつなげていきたい。
- 開催回数が増えると嬉しい。
- その場で説明会の予約を取れる工夫が必要だった。
- 西日本でももっと開催してほしい。
- 職員みんなで盛り上げようという雰囲気をつくれてよかった。

● 今後も出展したいか

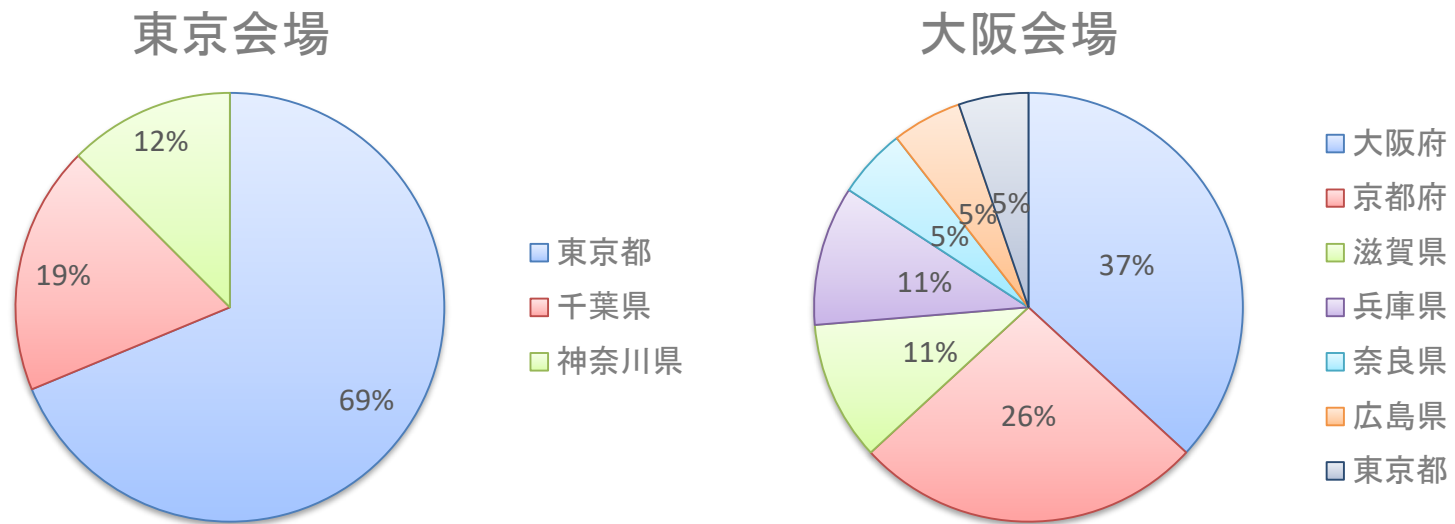
9割の法人さまに、出展したいと回答いただいた。満足していただける結果となった。



■ 出展したい ■ 出展したくない ■ わからない

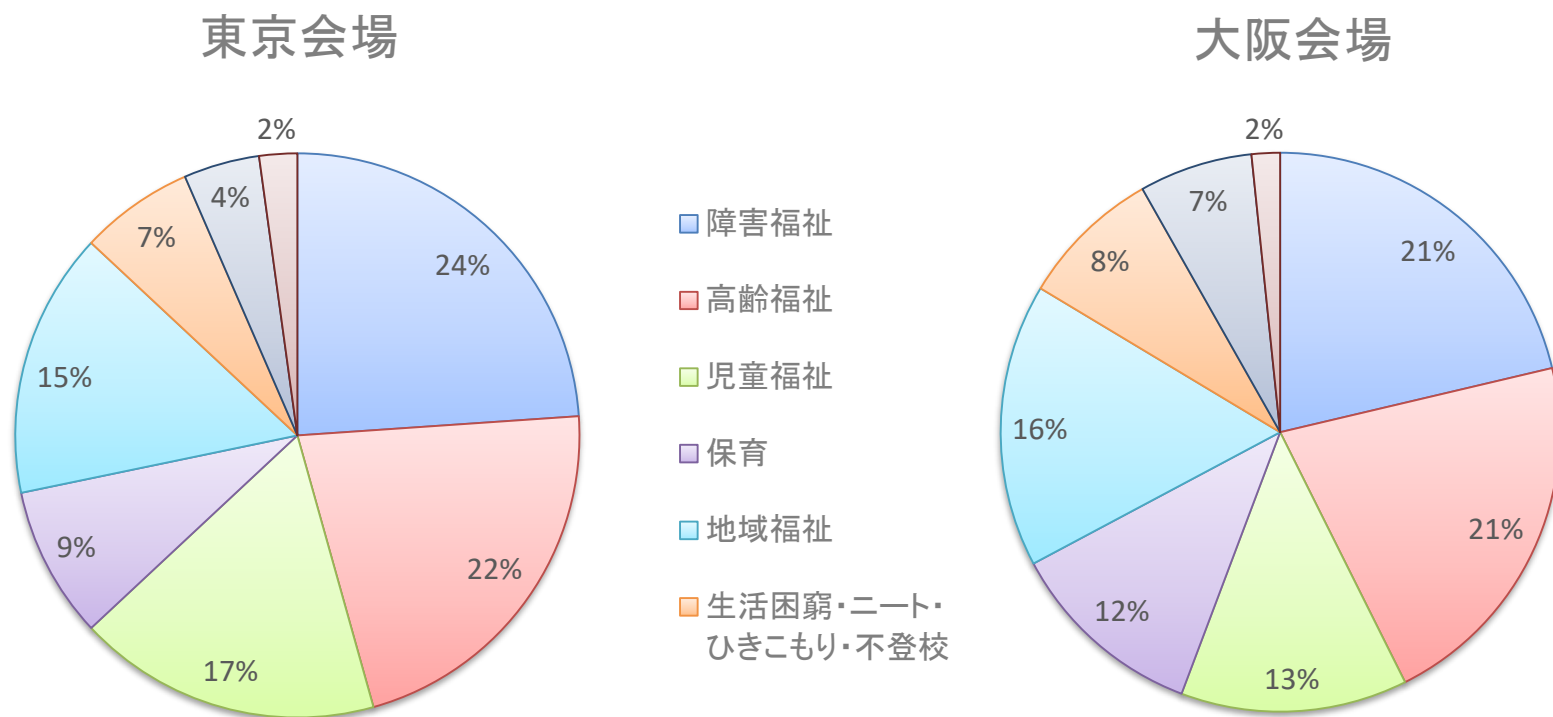
4. 出展法人－会場別の地域分布

- 東京会場では、関東圏内を主たる拠点とする法人の出展が10割だった。
- 大阪会場では、関西圏内を主たる拠点とする法人の出展が9割を超えたが、東京から出展する法人もあった。



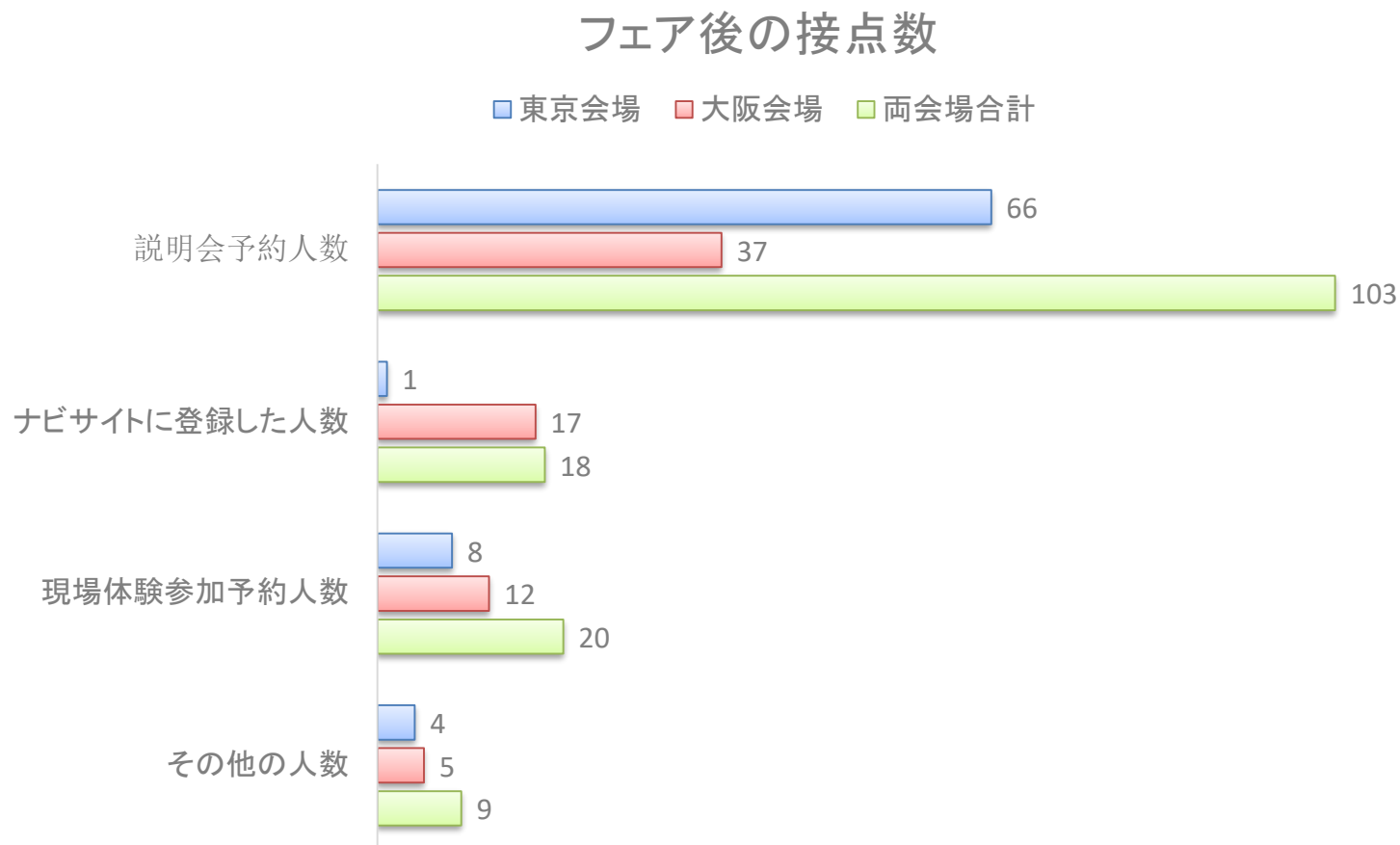
4. 出展法人－会場別の事業分野

- 東京会場、大阪会場ともに、障害福祉分野・高齢福祉分野・地域福祉分野が多かった。
- 学生アンケートでは、精神保健分野の出展を希望する声もあった。



4. 出展法人ーフェア後の接点数

- 就職年次の学生だけではなかったため、ナビサイト登録人数は多くはなかった。
- 1ブース平均、説明会予約人数は2.86人だった。



5. 参加学生一概要

東京会場参加人数	142名
大阪会場参加人数	94名
ブース訪問数	5.00法人(両会場平均)
満足度	85.47 点(/100点・両会場平均)

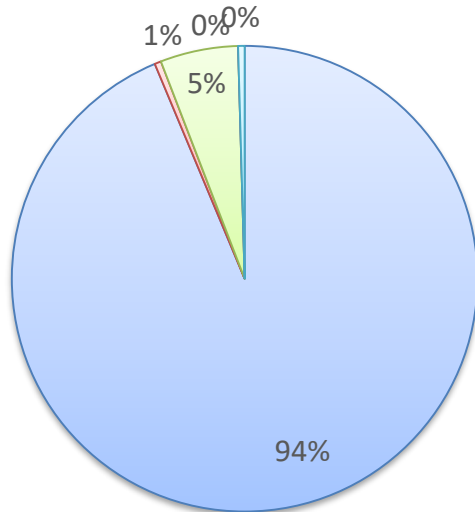
● 参加学生の声(抜粋)

- 自分が興味がなかった分野でもすごくためになる話を聞いて満足
- 堅苦しい雰囲気は一切なく、明るく楽しい雰囲気で就活に関する情報が聞けた
- ありのままの職員さんの姿が見えた気がした
- 温かい雰囲気で職員の皆さんが迎え入れてくれたので、話しやすかった
- 福祉で働くという意識を高めることができた
- 3年生のこの時期に参加できてよかった。分野ややりたいことを迷っていたところだったため、多くの法人について知れて福祉のイメージが変わった。
- 椅子に限りがあり、聞きたいブースに行けないのは時間がもったいなかった
- 精神の分野が少なく感じた
- 福祉貸付用具等、福祉に関連した一般企業やNPO法人にも参加してほしい

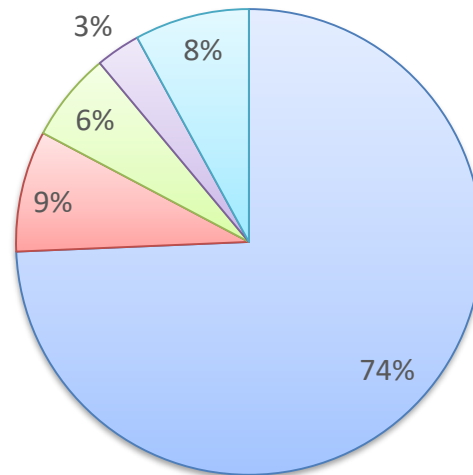
5. 参加学生－学校・学年・専攻 (両会場アンケート結果より)

- 参加学生のうち、4年制大学が9割以上を占めていた。
- 福祉専攻の学生が7割以上を占めていた。「その他」の回答の中には、栄養、英語、社会と記載があった。
- 就職活動年次ではない3年生の参加が3割近くあった。早期から就職活動を意識して、参加をしている様子。

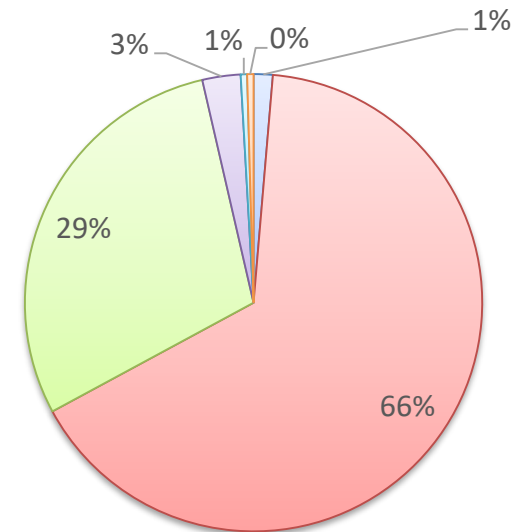
学校種別



専攻



卒業見込年



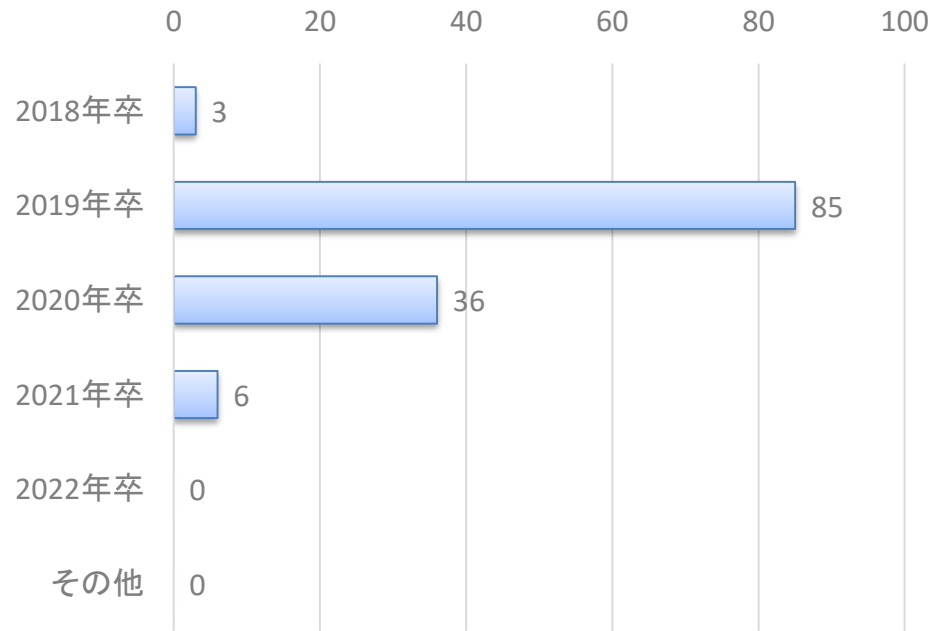
■ 4年制大学 ■ 短期大学 ■ 専門学校 ■ 福祉 ■ 介護 ■ 心理 ■ 教育 ■ その他
■ 大学院 ■ その他

■ 2018年卒 ■ 2019年卒 ■ 2020年卒
■ 2021年卒 ■ 2022年卒 ■ その他

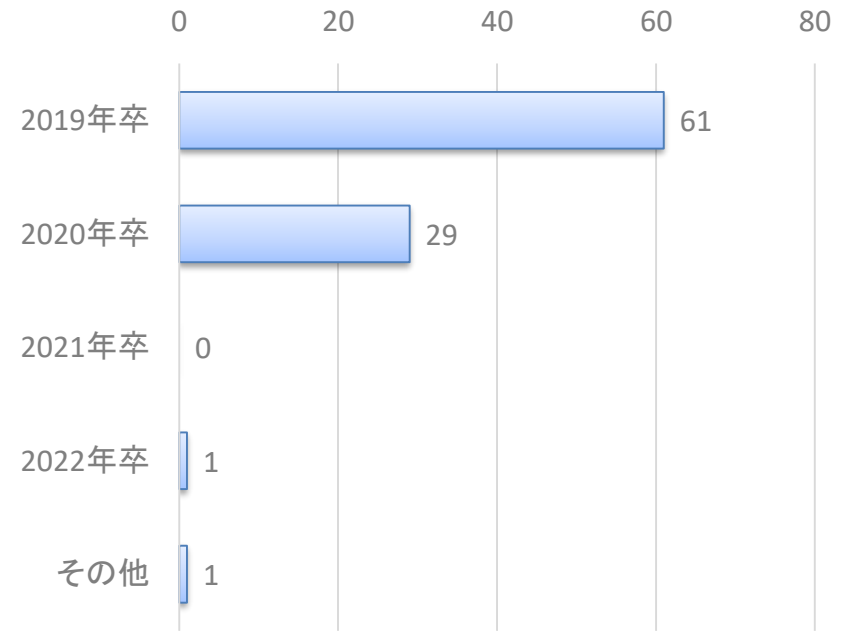
5. 参加学生－学年の内訳(会場別)

- 東京会場、大阪会場の参加学生の学年の内訳は以下のとおりで、大阪会場では2人に1人は就活年次の学生ではないという結果になった。
- 東京会場の2018年卒は、おそらく2019年卒の誤りと思われる。

東京会場



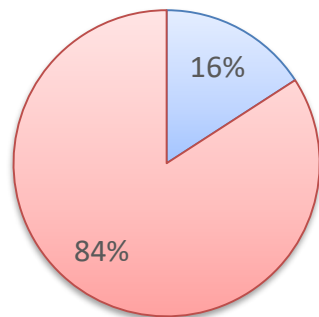
大阪会場



5. 参加学生-2019年卒生の動向(両会場アンケート結果より)

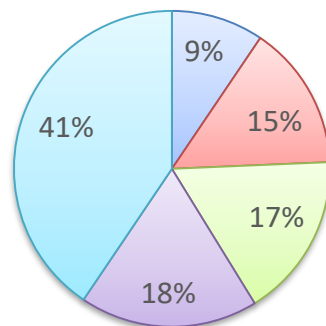
- アンケートに回答した2019年卒(4年生)に絞って見てみると、8割以上の学生が3月のフェアには参加していなかった。
- 就職活動の状況の2つの円グラフを見ると、「就職活動を始めたばかり」という回答が4割近くになっている。5, 6月のタイミングであっても、3月の解禁時期には動いていなかった学生と出会えるチャンスが十分にあると言える。

3月フェアの参加状況



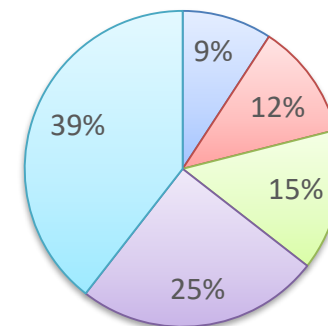
■ 参加した ■ 参加していない

就職活動全体の状況



■ 内々定をもらっている
■ 選考に進んでいる
■ 個別の説明会に参加している
■ 合同企業説明会に参加している
■ 始めたばかり

福祉関連の就職活動の状況

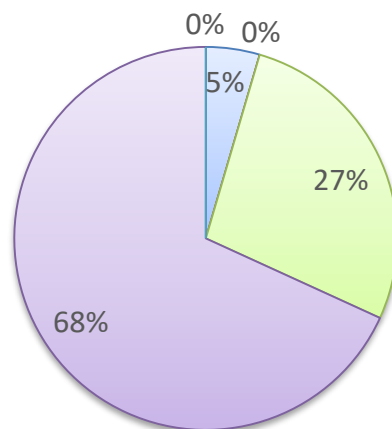


■ 内々定をもらっている
■ 選考に進んでいる
■ 個別の説明会に参加している
■ 合同企業説明会に参加している
■ 始めたばかり

5. 参加学生-2019年卒生の動向(両会場アンケート結果より)

- アンケートに回答した2019年卒(4年生)にのうち、「内々定をもらっている」と回答した学生に対しては、さらに「内々定の状況」について聞いた。
- 「内々定先に不満はないが、他の企業も見たい」と回答する学生が7割近くに上り、内々定をもらっていても、より多くの企業と出会い、比較検討をしたいと考えていることがわかった。

内々定の状況



- 内々定先に満足しているので終了している
- 内々定先に不満だが活動は終了する
- 内々定先に不満なので続行する
- 内々定先に不満はないが、他の企業も見たいので続行する
- その他

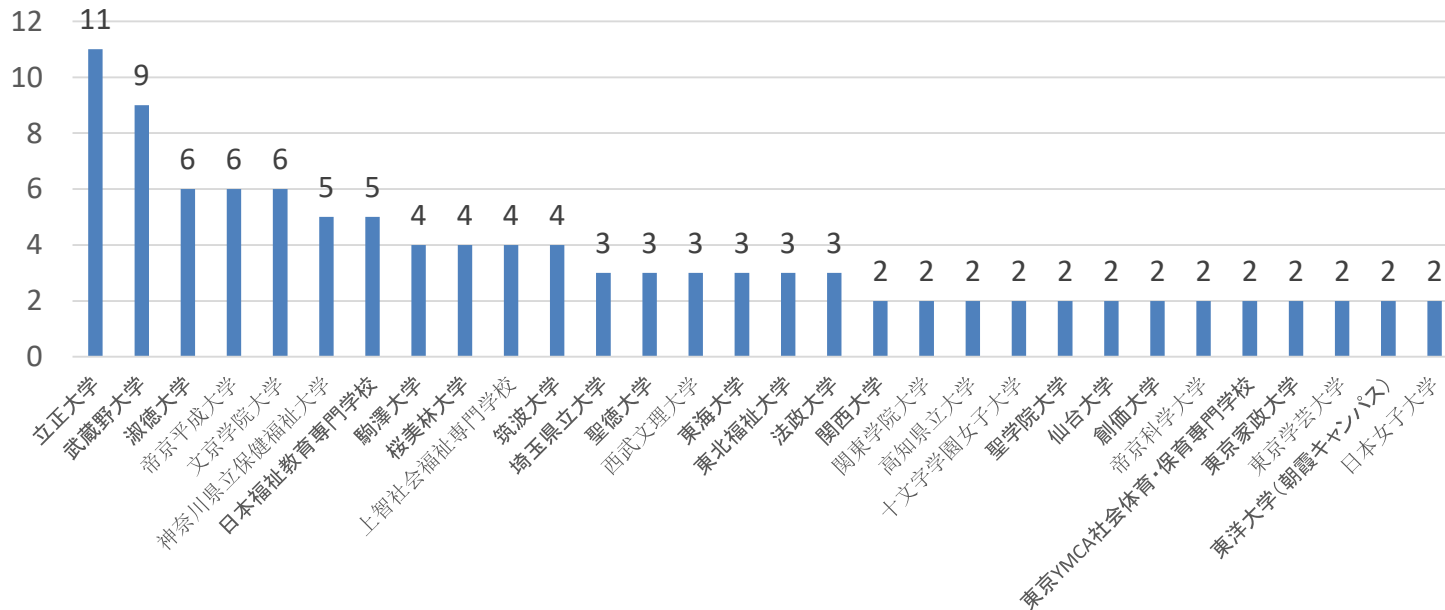
5. 参加学生-参加大学(東京会場_全学年)

- 参加学生のうち、大多数は関東圏内に所在する大学からの参加者だった。
- その他を見ると、関西地方や東北地方からの参加者もあり。
- 専門学生からの参加も見られた。

《その他の大学》

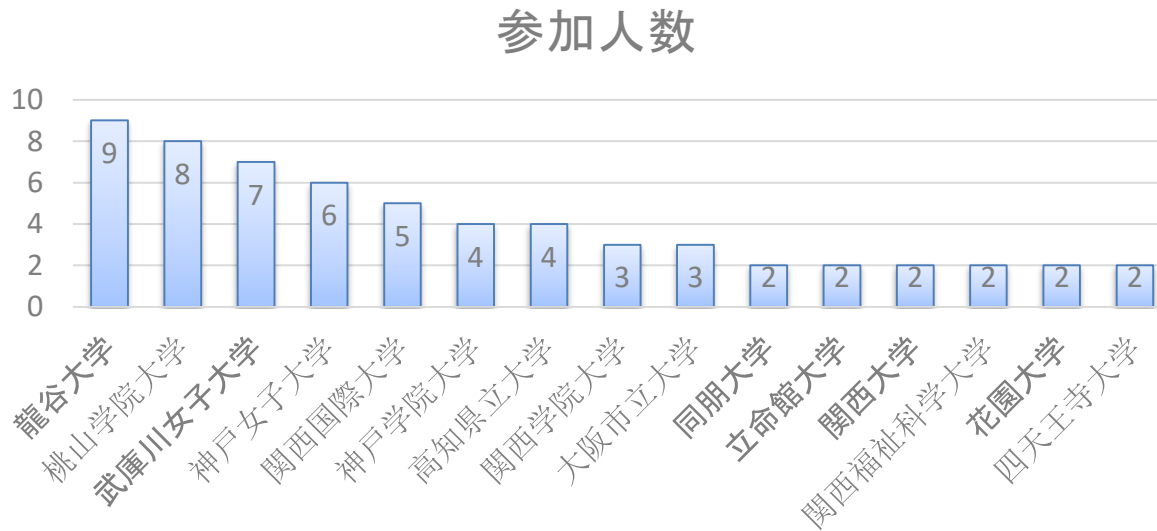
- 杏林大学
- 関西国際大学
- 群馬医療福祉大学
- 慶應義塾大学
- 健康科学大学
- 国際医療福祉大学
- 国際教養大学
- 首都大学東京
- 昭和女子大学
- 上智大学
- 早稲田大学
- 中央大学
- 東京福祉大学
- 白梅学園大学
- 文教大学
- 立命館大学
- 流通経済大学

参加人数



5. 参加学生-参加大学(大阪会場_全学年)

- 参加学生のうち、大多数は関西圏内に所在する大学からの参加者だった。
- その他を見ると、関東地方や東北地方からの参加者もあり。



《その他の大学》

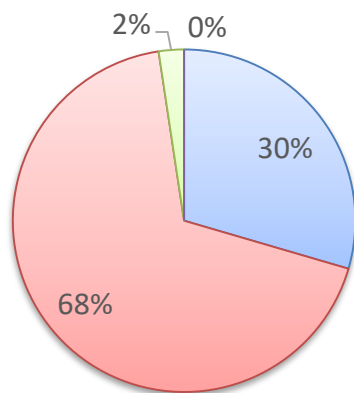
佛教大学
大谷大学
名寄市立大学
帝塚山大学
美作大学
山口県立大学
兵庫大学
京都外国語短期大学
京都ノートルダム女子大学
仙台大学
日本福祉大学
島根大学
大阪府立大学

5. 参加学生－就職意欲の変化(両会場アンケート結果より)

- 福祉への就職意欲が強くなった学生はほぼ100%であり、フェアに参加することで、大半の学生が福祉への興味を強くしていた。
- 就職を考えている業界(複数回答あり)は、福祉法人が4割以上、社会福祉協議会、一般企業(福祉関連)と続く。

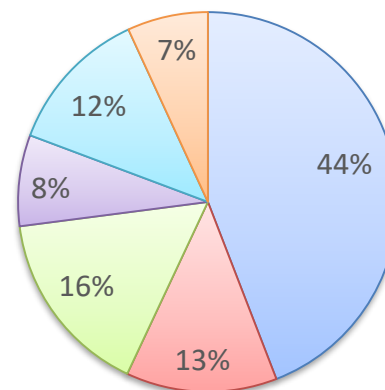
→このフェアに参加している学生は、すでに、福祉業界に意欲の高い状態であり、フェア当日を通して、福祉への就職意欲をさらに強めている。

福祉での就職意欲



■ すごく強くなった ■ 強くなった
■ 弱くなった ■ すごく弱くなった

就職を考えている業界(複数回答可)



■ 社会福祉法人 ■ 社会福祉協議会 ■ 一般企業(福祉関連)
■ 一般企業(その他) ■ 公務員 ■ NPO

6. 当日の様子ーオープニング



- FACE to FUKUSHI共同代表によるオープニングトーク
- 出展法人による30秒ずつのリレープレゼン

6. 当日の様子ーブースの様子



- ブース会社説明会や会場全体の様子
- コンシェルジュブースで、先輩に就活の相談をする場面

6. 当日の様子ートークショーその他



- 若手職員／人事担当トークショーで、普段は聞けないことを質問する様子。
- 出展法人の若手スタッフさんも、運営スタッフとしてお手伝い